



森田汐良さんと今西孝視先生

和道流は大塚博紀が創始した伝統空手流派。空手4大流派の一つといわれ、世界中で多くの人が学んでいる。守山区にある和道流空手道正武館本部の春日井支部道場に通い、和道流の全国大会の形で2度の優勝を飾っているのが、楠小学校6年生の水井涼さんだ。

水井さんが空手に興味を持ったのは、幼稚園の年少の頃。兄が通

第47回和道流空手道連盟全国大会

形・小学生5・6年女子 優勝

永井涼さん



う空手道場に付き添いで何度も道場を見学するうちに、自宅で見

様見真似で稽古を始めたそう。稽古への熱意は入門してから冷めず、指導の最中は身を乗り出してしっかりと聞き、自宅に帰ると先生からのアドバイスをメモした

「空手ノート」を作った。努力を重ねた結果、小学2年生の時に形で全国大会3位入賞、3年生と5年生の時に、全国優勝を果たす。今年4月1日に開催された第31回名古屋市長空手道選手権大会も、



森田汐良さんと早川昇コーチ

第34回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会

100メートル自由形・女子11〜12歳 出場

森田汐良さん



大きな壁を乗り越えて夢の舞台へ一歩ずつ前進

壁にかかるとペースクロックの秒針が0になると、アクアスペース北スイミングクラブに通う子どもたちが斉に水音を響かせた。3コースに分かれて泳ぐ子どもたちの中で、ひと際速く泳ぐかき分けていたのが、川中小学校6年生の森田汐良さんだ。県内の水泳競技大

会では毎回上位に入り、今年3月27日〜30日に開催された第34回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会でも、女子11〜12歳の部の100メートル自由形に出場。決勝までは届かなかったものの、伸び伸びとした泳ぎを見せた。

森田さんが水泳を始めたのは3歳の頃。兄の付き添いでスイミングスクールを見学した時に、楽し

そうに泳ぐ生徒たちの姿を見て、自分も挑戦したいと決意。以来、着々と力を伸ばし、多くの県大会で上位入賞を果たしている。得意な泳法はクロールとバタフライで「水をかき分けて前へ進んでいる実感がある」と森田さん。苦手な泳法がなく、キックや腕の力、精神力、技術など総合的に高い能力を持っており、コーチの指摘や他の選手の泳ぎを見て、自分のフォームをより良く修正できる力もある。森田さんの実力は長年にわたり多くの生徒を見てきた早川コーチでも「天性のものを持っている」「意識次第で将来、オリンピックも狙える選手」と絶賛するほどだ。

「ここまで、挫折を知らなかったわけではない。森田さんは小学4年生の時、大きな壁にぶつかった。いつも通りにしつかりと練習し、全力で泳いでいるはずなのに、急にタイムが伸び悩んだ。早川コーチも「フォームは悪くないのにどうして」と首を傾げる。はやる気持ちから、がむしやりに水を蹴る日々が続いた。

そんな森田さんを救ったのは父の一言だった。「誰にだって壁がある」という父の声を、森田さんは忘れられないと話す。その言葉とコーチや家族からの励ましに声に助けられた。

形と組手の両部門で優勝した。

繰り返した技の美しさやキレ、緩急などを審査する形は、毎日の練習の成果が何より反映される。永井さんを教える今西孝視先生も「指摘しなくては休み時間を使つても確認している」と話した。道場には週4日通っているが、休みの日も練習を欠かさない。「その時々を大切に、一つでも自分のものにできるように」が永井さんの姿勢だ。

また、相手の動きを見取る反射神経と洞察力に優れ、その目の良さを最大限に生かせるスピードもある。形だけではなく、組手でも全国を舞台に活躍できる力を持っているが、優しい性格が災いして、相手に気後れしてしまっている。今西先生は話した。しかし、持つて

いる実力は十分だけに、「いずれは組手で和道流の枠を越え、他の流派も参加する全国空手道連盟の大会で活躍できる選手になって欲しい」と夢を抱く。

水井さんもまた、大会の結果がモチベーションに繋がっている。特に初めて全国の舞台に立ち、3位入賞を果たした時のことが印象に残っているそう。形はもちろん組手でも結果を残したいという意志は強い。組手の指導を受けてい

けられ、リラックスして挑んだ時に、立ちほだかっていた壁を越えることができた。

今後の目標を森田さんに聞くと、「夏の全国JOCジュニアオリンピックカップ出場」を掲げた。春季大会の成績は振るわなかったが、すぐに次の目標に向けて走り出せることも森田さんの強さの一つだ。現在の目標は「50メートルの競技なら60メートル泳ぐつもりで、最後まで気を抜かず泳ぎ切る」ことだという。何事も全力で取り組み、ライバルたちに気持ちで負けない。壁をつひと乗り越えた先に、夢のオリンピックがきつと待っている。



得意のクロールで泳ぐ森田さん



早川コーチの指導をしっかりと聞きこむ



形は一つひとつの動きを丁寧に、緩急をつけて行う



目の良さを生かしたカウンターを何度も繰り返して身につける



水泳 森田 汐良
空手 永井 涼

巻頭特集

北区のがんばりキッズ!

5月5日は子どもの日にこ北区にも、勉強に、スポーツにと、毎日がんばっている子どもたちが多くいる。そんな子どもたちの中から、水泳と空手で活躍する二人の小学生を追った。

